

## 東南アジア諸国連合 (ASEAN) Association of South East Asian Nations

### I 概要

#### 1 住所等

Tel. / Fax	+ 62 21 726 2991 (代表)	+ 62 21 739 8234 (代表)
URL	<a href="http://www.asean.org/">http://www.asean.org/</a>	
所在地	70A Jl. Sisingamangaraja, Jakarta, 12110, INDONESIA	
幹部	Le Luong Minh (事務総長 / Secretary General)	

#### 2 設立目的

東南アジア諸国連合 (ASEAN) は、1967年8月にバンコクにおいて5か国の原加盟国で、近隣諸国が友好善隣を促進するために、設立された。世界的な経済統合の波を受け1992年には自由貿易地域の設立を宣言し、1995年には社会主義国のベトナムの加入を認めるなどして組織の性格を変化させてきた。

2007年11月には、「ASEAN憲章」及び「ASEAN経済共同体(ASEAN Economic Community: AEC)創設のためのブループリント」への署名が行われ、現在の共同体としての性格が規定された。加盟国の共通目標は、平和・安全・安定の維持・向上、政治・安全・経済・社会文化協力の促進、非核・非大量破壊兵器保持地域の維持などである。2015年には、ASEAN経済共同体の発足を正式に宣言した。

#### 3 加盟国

原加盟国はインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5か国で、1984年に独立と同時にブルネイが加盟した。1995年にはベトナムが加盟、1997年にはラオス、ミャンマー、1999年にはカンボジアが加盟し、2014年現在10か国で構成されており、東ティモールの加盟について検討中である。

### II 組織の概要

ASEAN首脳会議を「最高意思決定機関」として位置付け、年2回開催する。加えて、各国が代表を指名する閣僚級の政治安全保障 (Political-Security)、経済 (Economic)、社会文化 (Socio-Cultural) の三つの ASEAN 共同体委員会 (ASEAN Community Councils) を設ける。三つの委員会と各国外相によって構成される ASEAN 調整委員会 (ASEAN Coordinating Council) は、委員会の調整と首脳会議の準備を担う。各委員会は年2回以上開催され、議長国は首脳会議と同じ国が務める。また、分野別閣僚会合 (ASEAN Sectoral Ministerial Bodies)

を三つの ASEAN 共同体委員会の下に位置付けている。

ASEAN 憲章の発効により、任期 5 年の事務総長の権能が明確に規定され、事務総長及び事務局の機能が強化され、4 名の事務局次長が設置された (2 名はアルファベット順に異なる国から選出、2 人は公募を経て任命、任期 3 年)。

ASEAN は域外国との集団的な交渉・交流のために ASEAN+ (プラス) の枠組みを持っており、ASEAN+3 (日中韓) や日+ASEAN といった形で交流が進められている。

### Ⅲ 活動内容

電気通信及び情報通信技術については経済共同体委員会の下にある ASEAN 情報通信大臣会合 (ASEAN Telecommunications and IT Ministers Meeting : TELMIN) で取り扱う。TELMIN の結果や施策は、経済大臣会合に報告される。大臣会合の作業部会として情報通信高級官僚会議 (Telecommunications and IT Senior Officials : TELSOM) が設置され、規制機関の調整の場として規制機関会合 (ASEAN Telecommunication Regulators' Council : ATRC) が設けられている。

2003 年のシンガポール宣言で、ASEAN としてデジタル・オポチュニティを創出することを定め、e-ASEAN 確立のための活動を続けている。e-ASEAN 枠組協定では、ICT 分野の競争力を高め、国内・加盟国間でのデジタル・ディバイドを縮小し、官民協力を進めながら、ASEAN 情報通信基盤を開発することが定められている。

2015 年の ASEAN 単一市場の形成に向けた様々な政策の展開が図られており、情報通信分野では最重要課題として「ASEAN 連結性」の強化に向けての様々な施策が展開されてきた。2015 年 11 月のクアラルンプールにおける首脳会談において、同年 12 月 31 日の ASEAN 経済共同体の発足を宣言した。

2015 年 11 月の ASEAN 情報通信大臣会合において、2020 年を目途とした新たな情報通信分野における開発目標「ASEAN ICT マスタープラン 2020」を採択した。

### Ⅳ 最近の活動状況

#### 1 第 14 回 ASEAN 情報通信大臣会合

2015 年 1 月 22～23 日にバンコクにて開催し、「ASEAN ICT マスタープラン 2015」達成に向けて、残り 1 年間の努力の継続、ASEAN ICT 賞の創設、周波数の有効利用、人材育成のための ASEAN ICT センター及び中核的研究拠点のネットワークの確立、ASEAN ネットワーク・セキュリティ・アクション委員会及び ASEAN コンピュータ緊急対策チームの設置といった内容が含まれた宣言を採択

した。

## 2 第15回 ASEAN 情報通信大臣会合

2015年11月26～27日にダナンにて開催し、「ASEAN ICT マスタープラン 2015」の完遂を確認するとともに、2016年から2020年にかけての政策目標である「ASEAN ICT マスタープラン 2020」を公表した。マスタープランは、八つの戦略的推進事項として①経済開発及び移行、②ICTを通じた諸国民の統合とエンパワメント、③イノベーション、④ICT基盤開発、⑤人的資本開発、⑥単一市場におけるICT、⑦ニューメディアとそのコンテンツ、⑧情報セキュリティと確実性、を設定した。

また、「デジタルにイネーブルで、インクルーシブ、セキュア、かつサステイナブルな ASEAN 共同体に向けて」と題されたダナン宣言を採択した。

## V 主要国の対応状況

### 日・ASEAN 情報通信大臣会合の概要

・第9回 2015年1月23日、於バンコク

坂本総務審議官（当時）とタイ（主催国）のポンチャイ情報通信技術大臣が共同議長を務め、これまでの双方の協力関係を評価したほか、ASEANが目指しているASEAN連結性の強化に対する支援や、「ASEAN ICT マスタープラン 2015」後の政策課題に関する議論の実施、日ASEAN間でのICT政策のあり方に関するシンポジウムの開催について合意した。

この際に取りまとめられた「日本とASEANの情報通信分野における作業計画 2015」では、ASEANスマート・ネットワーク構築支援のための我が国からの協力について言及された。

・第10回 2015年11月27日、於ダナン

坂本総務審議官（当時）とベトナム（主催国）のソン情報通信大臣が共同議長を務め、これまでの双方の協力関係を評価したほか、「ASEAN ICT マスタープラン 2020」の策定を受けた、ASEANに対する日本の協力ビジョンである「ASEAN Smart ICT Connectivity（ASIC）」を発表した。また、サイバーセキュリティ分野での人材育成協力の強化を目指すプロジェクト「日ASEANサイバーセキュリティ協力ハブ」を提案し、詳細について日ASEAN間で議論を進めていくことで合意した。

[ASEAN、総務省]